

お元気なうちに、悩み事を解決する

各専門家とライフサポート青森が連携

医師 終末期医療の 意思表示	弁護士 財産管理 法律相談	税理士 相続・贈与税 の相談	司法書士 相続・贈与・ 遺贈登記	行政書士 各種書類作成	社会保険 労務士 年金相談	不動産業 住替え 不動産売買	不動産 鑑定士 不動産鑑定	
介護業 介護保険外の 日常業務	有料 老人ホーム 入居型施設	介護施設 施設入居	寺院 永代供養 法要	葬祭業 葬儀予約	不用品 整理業 遺品整理	墓石業 改葬・埋骨 骨上げ	警備業 緊急時の 駆け付け	運送業 引越し

「自分の身に万が一何かあった時、頼れる親族がいない」「家族には迷惑をかけたくない」こうした高齢者の不安・要望に応える相談窓口として、弁護士や医師をはじめ葬祭・不動産業など幅広い分野と連携し「身元保証・生活・葬送」の三つの支援を柱に、会員である高齢者の皆さんの悩みを解決するお手伝いをしています。



又、シニア世代の活き活き応援団として、どなたでも参加できるセミナーや相談会、イベント・情報交換会などを開催。
(詳細はホームページをご覧ください)
只今、会員募集中心!会員特典もあります。

「すい臓がんステージⅣから還ってきた男」 ～余命7ヶ月から寛解までの11年間に及ぶ奮闘記～

川嶋さんは、絶望的な病気に対しても真摯に真面目に誠実だった。野菜中心の食生活の豊富なメニュー。奥様に支えられて、自分の生活を180度ガラリと変え、運動を続け、脳の活性化にも心する。「施し」もまた、人のためではなく自分のためと達観して社会に尽くす姿勢は見事だ。がんで死なない、がんにならない、健康長寿な生き方を、この本で学んで欲しいと願ってやまない。

(東奥日報社社長・主筆 塩越 隆雄)



「すい臓がんステージⅣから還ってきた男」読者プレゼント(10名様)

応募方法

①氏名 ②年令 ③住所 ④電話番号
①～④迄をご記入のうえ、
FAXでお申込ください。

申込先

〒030-8686 青森市松森1丁目4番8号
株式会社青森テレビ すこやか事業 事務局 宛
FAX:017-763-0271

NPO法人 シニアライフ 活き活き応援団!
ライフサポート青森
TEL/FAX 017-777-6277 (受付時間:平日9時～15時迄) ライフサポート 検索
〒030-0822 青森市中央1丁目1-20
http://www.a-life-support.jp

ために私たちがお手伝いいたします!

自分が認知症になったら、自分が死んだら、自分の財産はどうなるだろう…人生を最後まで楽しむためにも、悩みの時間は少なくしたいですね。「自分が築いてきたものを、自分のために使い、自分の意思で遺すこと」は、自分の人生を自分らしく彩るために当然です。このような悩みを解決するために、例えば、任意後見、遺言といった方法を与えてくれるのが法律です。最後まで自分らしく生きるために、法律と仲良くなってみませんか?



石田法律事務所
弁護士 竹本 真紀

【学歴・経歴】昭和63年4月生、9年3月京都大学法学部卒業、平成9年4月司法修習開始(第51期)、平成11年4月検事任官(東京地方検察庁)、平成16年4月青森地検、平成19年3月検事退職、平成19年4月青森県弁護士会に弁護士登録、平成23年4月青森県弁護士会副会長就任(4期)、平成27年4月青森県弁護士会会長就任(2期)
【委員 歴】元年金記録確認青森地方第三者委員会(委員長)、青森県情報公開審査会委員、青森県行政不服審査会(会長)、青森県精神医療審査会委員、青森県弁護士会法律相談センター委員会委員長、元青森県弁護士会民事介入暴力対策委員会委員長

一番大事な終活が全く無名です。それは“リビングウイル”。意識すると「終末期に受けた治療の心づもりを、周囲と共有しておくこと」。例えば、現代は認知症や老化で自然なお迎えが来ても、延命治療で望まぬ長期の寝たきりに誘導されがちです。当人は既に言葉を持たないし、家族の情としても延命治療を断ることは難しいからです。もしその時にリビングウイルがあれば望まない長期の寝たきりは防げるかもしれません。是非、御一考を。

1953年生 昔 がんの外科医
今 ぴんころ教教主
世を忍ぶ飯の仕事
青森県立中央病院 医療管理監

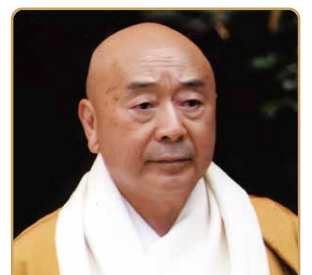


青森県立中央病院
医療管理監
小野 正人 先生

縁があったおかげで生まれてきて、縁があったおかげで生きてこられたのです。人生の重み、生命への尊厳性を考えたとき「死」は人生の卒業式です。葬式不用と云うことは、お盆、彼岸、回忌法要なども不要と云うことです。この世に存在していたことすら無かったのでしょうか。

死は人生の卒業式です。自分の人生への矜持と感謝の気持ちを遺族、友人へ伝えたい。自分の卒業式を元気なうちにプロデュースしてみても如何でしょうか?

卒業写真は遺影。答辞は遺族、会葬者への感謝のメッセージです。書き残すなり、録音するなり。卒業アルバムは自分のエンディングノートです。記念品贈呈は遺産です。最後に歌いましょう。♪仰げば尊し♪・・・我が師の恩は人生で縁を結んでいた人すべてに報恩感謝し・・・いざさらば。立つ鳥後を濁さず、です。



青龍寺
住職 織田 隆玄